



NISHIKOMAGOU DAYORI

にしこまごうだまぐ

No. 149

発行

長野県西駒郷

指定管理者：(社)長野県社会福祉事業団

長野県駒ヶ根市
下平2901-7

所長挨拶



新年度のスタート

所長 塩沢 総夫

今年も春爛漫の季節を迎えました。地球温暖化の影響なので、今年も春の訪れが早くなってきた感じがします。

さて、平成三十一年度がスタートしました。世間では、今、改元の話題で持ちきりかと思われまふ。関連して十連休の取り扱ひも個人や会社レベルで右往左往しているところではないでしょうか。勤勉な日本人にとっては、躊躇してしまうのも仕方ないのかと思つてしまいます。その他にも、今年、地方選挙や国政選挙に加えて消費税の値上げも予定されています。まさしく話題には事欠かない年になりそうです。

同様に西駒郷においても皆様の耳目を集める年になるかと思われまふ。それは、「西駒郷整備検討会」の結果が公表されるといふことです。当初の予定では前年度中に結論が出るものと期待していましたが遅れています。西駒郷の指定管理者であります長野県社会福祉事業団としても、長年にわたり西駒郷を運営してきた実績を基に、今後の西駒郷のあるべき姿を県へ提案してきています。その根底にある考え方は、「利用者の想ひに寄り添ひ一人ひとりが豊かな人生を歩んでいける支援体制」です。どんな結果になるかはまだ予想できませんが、多くの専門家のご意見をいただきながら検討されていますので、未来へつながる素晴らしい結論が出るものと期待しやみません。

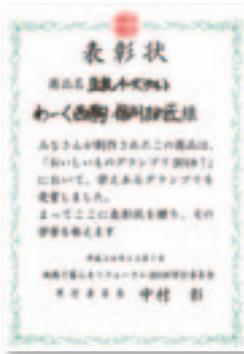
今後とも関係の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



駒ヶ根日中支援課

グランプリ受賞

昨年十二月七日に長野市で開催された「地域で暮らそうフォーラム二〇一八」と同時開催された「おいしいものグランプリ二〇一八」において、わーく西駒「信州まめ匠」で製造販売している豆乳チーズタルトが栄えあるグランプリに輝きました。



県内から十一事業所の障がい者就労支援施設がエントリーし、それぞれ自慢の自主製成品を参加者や一般の方に試食して頂き、一番美味しかったものに投票していただきました。これも、日頃から心を込めて商品を一つ一つ丁寧に作り上げてきた成果だと利用者・職員一同とても嬉しく思っています。

この豆乳チーズタルトは、信州まめ匠自家製豆乳をたっぷり使用した自信作です。クリームチーズやサワークリームを独自にブレ

ンドし、爽やかなチーズの酸味と豆乳を加えることでコクと深みのあるなめらかな口当たりのタルトに焼き上げています。

今年二月には、県庁で行われた部局長会議の席でも豆乳チーズタルトが紹介され県の情報誌「アリア」三月号にも紹介されています。

まだ召し上がっていない方、是非信州まめ匠の豆乳チーズタルトをご賞味下さい。



節分

二月四日に、駒ヶ根日中支援課にて「節分」を行いました。毎年、この時期になると利用者の皆さんが活動をされている部屋に鬼がやってきます。利用者の皆さんは新聞紙で作った豆をまいて楽しまれています。



ボランティアさんの紹介①

～マッサージボランティア～

駒ヶ根日中支援課では、行事や毎日の活動等、様々なボランティアさんと活動をしています。

今回は、マッサージボランティアの宮下さんを紹介します。



マッサージボランティアの宮下さんは、市内で整体を開いているマッサージ師です。月二回程度駒ヶ根日中支援課に来て頂き、利用者の皆さんの身体を優しくほぐして頂いています。利用者の皆さんは、宮下さんにマッサージをして頂くとても気持ちよさそうな表情をされています。

宮下さんは、西駒郷に所属している職員の紹介から、昨年西駒郷

で行われた「カラフルカフェ」に参加をし、ボランティアを始めていらっしやいます。宮下さんはボランティアしている中で「言葉でコミュニケーションができない分、ボディタッチでコミュニケーションに集中できる」と仰っていました。

また、「ボランティア前には障がいを持たれている方との接し方がなかなかイメージが出来なかつたが、今は障がいを持つている方、持っていない方関わらず色々な方に対する接し方や対応の仕方を見つめなおすきっかけになりました。言葉でなかなか伝えにくい分、自分の得意であるマッサージを通じてコミュニケーションを表現していきたい。細く長くボランティアをしていきたい」と仰っていました。

利用者の皆さんにとっても居心地のいい時間であり、普段の疲れを癒す時間でもあると思うので、これからもよろしくお願ひします。



ひまわり支援課

クリスマス会

十二月二十二日に毎年恒例のクリスマス会を開催しました。サンタクローズから利用者ひとり一人にプレゼントが手渡され、皆さんとても喜んでいました。また昼食の時間には、いちごがたくさんのつた大きなクリスマスケーキとボリウムたつぷりのステーキ弁当が提供されました。そして食後は、新転任職員による紙人形劇や歌の発表もあり、季節感あふれる華やかなクリスマスのお雰囲気を楽しむことができました。



春の音楽会

三月十日に春の音楽会を開催しました。今年度ひまわり支援課には楽器を演奏できる支援員が多数おり、当日はバイオリンやギター、ピアノ等、様々な楽器の音色が棟内中に響き渡りました。利用者の皆さんも手拍子やタンバリン等で思い思いに演奏し楽しむことができました。また余興で「皿回し」を行いました。皆さん初めての体験だったと思いますが、上手に回すことができました。



さくら支援課

日帰り旅行

十二月七日に世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ(岐阜県各務原市)へ日帰り旅行に出掛けました。アシカショーやかわいいカピバラ等を見学して楽しんで来ました。今回で今年度の寮単位での日帰り旅行は全て終了しました。来年度も皆さんに楽しんでいただけた様な旅行を企画していきたいと思っております。

また、この他にも、団体行動や長時間の旅行が苦手な利用者の為に個別な日帰り旅行を企画しました。一月九日に松本空港周辺へ、二月十五日に飯田方面へ出掛けています。



お楽しみ会(二月)

八月のお盆期間中に続き、二月にも「お楽しみ会」を開催しました。今回も各ブロックの担当職員が趣向を凝らした催し物を開催しました。

一・二寮ブロックでは「お菓子買い物体験」を行いました。疑似通貨を使い、好きなお菓子を選んで購入していました。皆で楽しくお菓子を頂きました。

三・四寮ブロックでは、「ホールケーキを楽しむ会」を行いました。普段あまり登場しない大きなホールケーキを目の前にして、皆、目を輝かせていました。もちろん切り分けた後に皆で頂きましたが、その味は格別だったと思います。

五・六寮ブロックでは「お好み焼き作り」を行いました。美味しそうな湯気と香りに誘われ、笑顔溢れるお楽しみ会となり、皆それぞれにとても楽しんでいました。

なお、今回のお楽しみ会の費用は保護者会さくら分会より拠出していただきました。改めて御礼申し上げます。



企画調整課

すみれホーム

「すみれホーム」という名前を聞いて「どのような場所なんだろ」と思われる方が多くいらっしゃるようです。「すみれホーム」は自活訓練棟という位置付けで「地域での生活を希望される利用者の方にグループホームやアパートなどの生活のイメージ作りのお手伝いをする」ことを目的に現在三名の利用者の方が生活されています。その他に上伊那圏域の在宅の方の緊急的なニーズに応え短期入所の方の受け入れも行っています。平成十七年の開設より、すみれホームで生活体験を行い長野県全域のグループホーム等に地域生活移行された利用者の方が大勢いらっしゃいます。

昨年度より「地域定着支援」としてアパート等での一人暮らしの生活をしている利用者の方を相談支援専門員と連携しながら、定期的に訪問し健康面や生活全般のサポートをする業務も



開始しました。

一人暮らしをしながら日中活動に通所されている方二名、昨年アパート生活を始め一般就労をされている方一名を訪問しています。



一月よりすみれホームでの生活から一人暮らし生活体験を始めた利用者の方もいらっしゃいます。数か月前から調理の練習や洗濯等のアパート生活に向けた準備をし、正月明けからアパートの生活を始めました。ホームでは、食事、買物、清掃等全面的に支援を受けていますが、アパートでは、訪問支援を受けながら、自立に向けて頑張っています。



まつば支援課

クリスマス会

十二月二十二日にまつば支援課のクリスマス会を行いました。午前中にケーキのスポンジにクリーム等のデコレーションを皆で行い、会の直前に切り分けて配りました。自分達でデコレーションしたケーキの味はまた格別でした。食事は自分達で調理したドライカレーとフライドチキンでした。おかわりをしてモリモリ食べる方もいました。



今回はボランティアの木下さんに来て頂きフルートの演奏をしてもうりました。曲はクリスマスソングやミッキーマウスマーチの演奏で、フルートの音色に引き込まれ、皆さん聴き入っていました。ダンスクラブの皆さんも踊りを披露し、サザエさんのテーマ曲など力一杯踊ることが出来ました。パネルシアターや職員扮するサンタクロースからのプレゼントもあり盛りだくさんの内容でした。最後に新しい年の抱負を一人一人が発表して充実した時間を過ごすことができました。

えご宮田の焼き芋販売

毎年、えご宮田の風物詩ともなっている「焼き芋」が昨年十二月からスタートしました。(三月末で終了。)

今シーズンも「紅はるか」という品種を扱っています。さつま芋の中でも、甘みが一番強く、焼き芋にするとねっとりした食感になります。

焼き芋にするにあたって、芋のひげ根の処理や焼きあがった芋の袋詰めなど、様々な工程に利用者さんが関わっています。

袋詰めが終わると、二名の利用者さんが所内に販売に行っています。おかげ様で毎回完売となり、利用者さんの励みにもなっています。



ランチコンサート♪

利用者の皆さんが、昼食を取りながら音楽を楽しんでいただけよう、近隣に在住する音楽を愛する方々をお招きして、ミニコンサートをボランティア係が企画し、開催しました。

毎回、利用者さんも一緒に歌ったり手拍子を打ったり聞き惚れたりと楽しいひと時を過ごしました。それぞれの皆様にはお忙しいなかを主旨に賛同してご参加いただき、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。有難うございました。

・フルート演奏 (六月)

駒ヶ根市の木下喜代子様によるフルートの美しい音色で、「浜辺の歌」、「夏は来ぬ」、「琵琶湖周航の歌」等を演奏していただきました。希望者は食後も席に残り、曲に合わせて口ずさみながら楽しんでいました。



・ハーモニカ演奏 (十一月)

駒ヶ根市の「はつらつハーモニカ」のメンバーの皆様により、息

の合ったハーモニカ演奏を聞かせていただきました。懐メロも演奏していただき、「懐かしい曲で良かった」「楽しかった」との声が聴かれました。



・オカリナ演奏 (十一月)

駒ヶ根市の「奏で屋×奏で屋」のメンバーの皆様により、クリスマスに因んだ曲を演奏していただきました。用意していただいた鈴を利用者さんが振ったりして、メンバーと一緒に楽しい時間を過ごしました。



・大正琴演奏 (一月)

「大正琴ペパーメント」のメンバーの皆様により、新年に相応しい曲を電子大正琴で演奏して頂きました。ヤングマンでは踊りだす利用者さんも盛り上がりました。



ずくっと来てね、大沼さん!

運転業務を担当されているご主人が軽作業班に配属されていたのが縁で、ボランティアにお越しくださいようになりました。

「利用者の皆さんと話すのが楽しいから…」との理由から以来六年余、ご多忙のなかほほ毎日の午前中を、時には午後もお越しいただき利用者の皆さんと過ごされています。

電子部品の組み付け作業を中心に、時には船舶部品の組み立て作業にも関わっていただき、ともに働く利用者の皆さんも大きな信頼を寄せています。

さっそくとサングラス姿で自家用車を運転して出勤される様子は若々しく、いまだ青春を謳歌されているようで羨ましい限りです。

これからも、利用者の皆さんや支援員と一緒に軽作業班で過ごして頂けることを切に願っています。

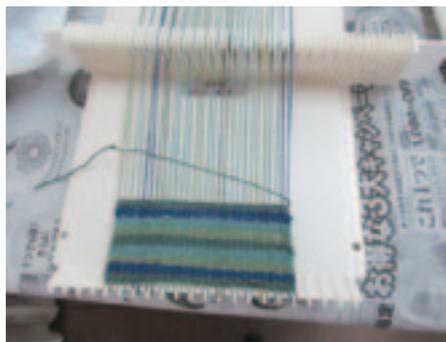


平島さん、いつもありがとうございます♪

毎週、月曜日と水曜日の午前にお越しいただき、機織りへの糸のセットや調整、また機織りによるマフラーやランチヨンマット等の製作をボランティアで行っていただいています。

昔は紬縫製班にも機織りを扱える支援員がいて、利用者の方と協力して日々作品の製作に励んでいました。時代の移り変わりとともに、今ではそれも叶わぬ夢となつてしまいました。

お忙しい中を毎週お越しいただき感謝の念に堪えませんが、機織り作業の灯が消えぬよう、これからも紬縫製班をどうぞよろしくお願いたします! (写真は平島さんの作品です。)



保健室だより

保健室では、利用者の皆さんの健康の増進・疾病の早期発見を目的に健康診断・検診を計画しています。平成三十一年度の予定は、次の通りです。

【西駒郷で行う検診】

- 五月 生活習慣病健診（希望者）
- 六月 歯科検診（全員）
- 七月 婦人科検診（希望者）
- 八月 肺結核検診（六十五歳以上）
- 十一月 健康診断（全員）
- 十二月 インフルエンザ予防接種

【病院で行う検診】

胃検診（胃カメラ）、乳がん検診は、希望者のみ個別に対応させていただいています。

この他にも、肺がん検診などもご家族・ご本人の希望に沿って個別に対応しています。

保健室では、毎年年度末に次年度の検診希望をお伺いし、ご家族・ご本人の希望に沿って検診を計画しています。ご不明な点・ご心配なことがありましたら、担当支援員にお伝え頂けるとありがたいです。

また、検診の結果再検査の連絡があった場合は、担当職員よりご家族に連絡をいたします。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。



平成三十年度 苦情等の受付状況

（平成三十一年三月二十日現在）

今年度、頂いた苦情等は次のとおりでした。

家族から	二件
一般の市民の方から	二件
取引業者さんから	一件

- 頂いた苦情の内容は次のようなものでした。
 - ・送迎車の速度が速い。車間も狭く、煽られているようだ。（市民）
 - ・施設内で虐待が行われているのではないか。（市民）
 - ・日中活動が変更されたが、事前に丁寧な説明がなかった。（家族）
 - ・給食食材に異物が混入されていた。（取引業者）
 - ・時間どおり待っていたが、送迎のバスが事前に出してしまっていた。（家族）
- これらの苦情に対し、状況を確認のうえ、相手方に謝罪及び改善策を示し、ご理解をいただきました。
- 今後とも、頂いた意見等に対しまして、真摯に対応し、サービスの向上に向け、職員一同努めて参ります。

題字者紹介

西駒郷さくら支援課

中澤雄司さん



中澤雄司さんは、わく宮田の軽作業班に通っています。作業で九千九百九十九兆円を稼ぐという、とても大きな夢があります。

ただ、その使い道を聞くと、自分にはなく、他の人に使うという事が多く、最近では『職員に四万円分の四国のお土産を買って来る。』と言っています。少しでもその夢に近づける様、私達もお手伝いをしていきたいと思っています。

編集後記

例年に比べ、雪の少ない冬でしたね。西駒郷でも桜が咲き、暖かな春を迎えました。

今回の『西駒郷だより』では利用者の皆さんの日常生活に加え、西駒郷を支えてくださっているボランティアの方の紹介をさせていただきます。

皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、また工夫を凝らした次号をお届けできるように努力していきたいと思えます。